雪国文化に触れる旅

── 歩く・学ぶ・食べる ──

名胡桃城跡（みなかみ町）

大秋山村跡（栄村）

かすみの間（湯沢町）

坂戸城跡（南魚沼市）

目黒邸（魚沼市）

高靈神社（十日町市）

信濃川の展望（津南町）

雪国観光圏
SNOW-COUNTRY.JP

鉄道で歩む旅の入り口は、駅舎である。古き良き時代の駅舎には、風土に密着した個性があった。その駅舎に降りたときの漂う香りも旅の醍醐味であった。6月、信濃川のほとりを走る飯山線からの車窓には、近景に信濃川と山村風景、そして甘い香りが漂う。それは淡い紫色の桐の花から香る原風景の香りである。遠景には残雪の越後三山が見える。

越後三山の懐には、魚野川が流れ、早春の冷たい清流にカジカを探し、初夏の水辺に竿をたらし、アユを釣る。晩秋にはサケが昇り、冬支度を教える。この清流の風物詩は、魚野川沿いを走る上越線の車窓から見え、時には駅舎からブラリと歩くと川風に吹かれて、気が付くと風景の中に自分がいる。

雪国文化は、厳しい自然環境を背景に、そこに生まれ育ち、滅んでいった先人たちが残してくれた世界に誇れる文化遺産である。その文化と自然環境が作り出す風土は、大切なトポフィリア（場所性）を築き、そこに流れる風にアメニティ（快適性）がある。

現在ある駅舎は、合理性と効率性を追求した構造であり、そこには駅舎としての個性は薄くさびしい限りである。しかし、その空間を目的的にディスプレーすることで個性ある駅舎へと変貌する可能性が潜んでいる。すばらしい自然環境と歴史文化に触れる旅の玄関口である駅舎は、風土論の中で語る必要がある。

このたび雪国文化ＷＧでは、構成自治体に点在する駅舎に焦点を当て、駅舎からの「ブラリ散歩」を想定し、その近傍に点在する文化財や資料館など、そして美味しいスポットを入れ込んだ探訪モデルコースを作成した。この学術的資源（総合文化財）の分布を旅人目線で再構築することで「観光ブラリ散歩」のモデルコースが作れるものと期待している。

さて、川端が歩いた古き良き湯沢の温泉街の残影を探して歩いてみようか。

1 みなかみ町 JR上越線 水上（みなかみ）駅

奥利根の歴史と文化を求めて

JR上越線水上駅周辺は、古くから温泉場として知られ、明治、大正、昭和には与謝野晶子・鉄幹、若山牧水、北原白秋、柳原白蓮、壇一雄などたくさんの文人が来訪し、いくつもの作品を残すとともに、文学碑として人々の記憶に残されています。四季折々の自然を体全体で感じながら駅前通り、温泉街、道の駅、歌碑公園、寺院などの魅力が、わずか2時間程度の軽いハイキングでも充分に堪能できます。

1 JR水上駅

JR上越線では春から秋にかけて高崎～水上間にSLを走らせています。走る姿も見どころですが、狙い目は水上駅北側の転車台。終点水上駅に着いた機関車はここでレールごと方向転換して上り線へ向かいます。レアな写真が撮れるかもしれません。

4 与謝野晶子歌碑記念公園

水上温泉には昔から多くの文人が訪れました。与謝野晶子は鉄幹とともに特に多くの歌を残し、その歌碑を利根川の河原に集めてあります。

5 建明寺

関東管領上杉憲政が越後へ向かった際に同行していた秀翁龍樹和尚が開祖といわれ、本堂には上杉憲政と伝わる木像が安置されています。木像の見学についてはみなかみ町教育委員会にお問い合わせください。

お問合せ みなかみ町教育委員会 0278(25)5025

2 みなかみ町山岳資料館

水上温泉街の真ん中にあり、谷川岳を中心とした登山史を語るうえで欠かせない写真や地図などの貴重な資料、多くの登山家から寄贈された登山用品などがたくさん展示されています。

開館時間 10：00～17：00
休館日 火曜・水曜休館
入館料 無料

3 道の駅 水紀行館（みずきこうかん）

淡水魚の水族館、お土産売り場、軽食堂が併設された道の駅。駐車場内には無料の足湯があるほか、夏には利根川の河原の池でマスのつかみ取りも開催しています。

休館日 9：00～17：00
休館日 要確認 0278(72)1425 入館料 有料

6 水上歴史民俗資料館

考古・民俗・自然科学資料等が展示され、敷地内には国指定重要文化財・旧戸部家住宅も一般公開されています。

開館時間 9:00 ～ 16:00 休館日 年末年始 入館料 有料

JR上越線 水上駅 奥利根の歴史と文化を求めて 合計 5.7km ／ 所要時間 約1時間12分

1 水上駅 → 1.1km 13分 → 2 みなかみ町山岳資料館 → 700m 9分 → 3 道の駅 水紀行館 → 800m 10分 → 4 与謝野晶子歌碑記念公園 → 1.4km 18分 → 5 建明寺 → 600m 8分 → 6 水上歴史民俗資料館 → 1.1km 14分 → 1 水上駅

※時間は徒歩です。

2 みなかみ町　JR上越線　後閑駅

谷川岳を展望しながら真田の里探訪

今からおよそ500年前の戦国時代。後閑駅周辺は越後の上杉、関東の北条、甲斐信濃の武田・真田といった三大勢力による領地争いが激しく繰り広げられていました。谷川岳を展望しながらの2時間半のハイキングでは、この利根川の河岸段丘上に戦国時代の城跡のほか、縄文時代から連綿と続く悠久の歴史文化を感じることができます。

② 茂左衛門地蔵尊

江戸時代、真田沼田藩の高い年貢に苦しむ百姓を、直訴により救い、地元では義民として伝わる杉木茂左衛門が祀られ、毎年春分の日と秋分の日には縁日が開かれます。

⑤ 村主神社

大ケヤキはパワースポットにもなっています。県天然記念物。

土塁、建物跡などが復元されています。

③ 名胡桃城跡

県指定史跡。戦国時代、信濃から上野（こうずけ）に進攻してきた真田昌幸は、この城を拠点として北条方の沼田城を攻めました。続日本 100 名城。

④ 如意寺

江戸時代から明治にかけての地元絵師林青山が描いた天井絵。町重要文化財。

⑥ 月夜野神社

本殿全面に施された彫刻や組み物はまさに芸術作品。

⑦ 小川城跡

城主小川可遊斉（かゆうさい）は巧みなゲリラ戦法で戦国を生き抜きました。

⑧ 梨の木平敷石住居跡

台地の縁辺から1軒だけ発見された縄文時代の住居跡。床には扁平な石が全面に敷かれています。月夜野郷土歴史資料館の向かいにあり、建物で覆って保存展示しています。県史跡。

⑨ 月夜野郷土歴史資料館

旧石器時代から近現代まで、みなかみ町の歴史文化を知ることができる資料館。古文書や民俗資料のほか、国史跡・矢瀬遺跡や県史跡・梨の木平敷石住居跡、名胡桃城跡など、様々な重要遺跡の出土遺物が展示されています。

開館日　毎週土・日・祝日
開館時間　9:00～16:00
入館料　有料

⑩ 道の駅 矢瀬親水公園

国史跡・矢瀬遺跡は2300～3500年前、利根川の河岸段丘上につくられた縄文時代のムラ跡。現在でも流れている水場、直径数十cmもの大木で形作られた木柱列、石を立て並べた祭壇など特殊な遺構や遺物が多数発見されました。木柱列や竪穴住居、高床倉庫、水場などが復元され、史跡公園となっています。出土遺物は月夜野郷土歴史資料館に展示されています。

縄文時代の木柱根出土状況

線刻石
（月夜野郷土歴史資料館に展示中）

⑪ 月夜野びーどろパーク

ガラスのテーマパーク。グラスアート美術館では国内外のグラス作品が展示され、ガラス工場を見学できるほか体験工房もあります。

入館料　有料

JR上越線　後閑駅　谷川岳を展望しながら真田の里探訪　合計 13.4km ／ 所要時間 約2時間37分

① 後閑駅 → 1.1km 12分 → ② 茂左衛門地蔵尊 → 3.0km 40分 → ③ 名胡桃城跡 → 1.0km 13分 → ④ 如意寺 → 0.7km 8分 → ⑤ 村主神社 → 2.2km 25分 → ⑥ 月夜野神社 → 1.1km 12分 → ⑦ 小川城跡 → 0.4km 5分 → ⑧ 梨の木平敷石住居跡 → 0.1km 1分 → ⑨ 月夜野郷土歴史資料館 → 0.6km 6分 → ⑩ 道の駅 矢瀬親水公園 → 2.1km 23分 → ⑪ 月夜野びーどろパーク → 1.1km 12分 → ① 後閑駅

※時間は徒歩です。

3 湯沢町　JR上越線・上越新幹線　越後湯沢駅

越後湯沢ぐるっと散歩

越後湯沢駅は上越新幹線も停車する駅で、首都圏方面からの新潟の玄関口となる駅です。東口と西口があり、東口側は町の公共施設が多く、西口側は温泉通りとして観光の町らしい賑わいを見せています。越後湯沢駅前を西口から出発して、「湯沢町といえば?」で思い浮かぶ温泉（足湯）、歴史スポット、文学の舞台、お酒といったポイントを押さえたお散歩周遊コースをご紹介します。気になるお店にも立ち寄りながら楽しみましょう。

① 越後湯沢駅

駅前西口正面に新しくできた足湯のコーナーです。
待ち合わせの目印に、記念撮影スポットにも。

⑤ 湯沢高原ロープウェイ

一度に 166 人が乗ることのできる世界最大級のロープウェイで、季節ごとの自然が楽しめる山頂へ。

料　金　大　人　往復 2,000 円
　　片道 1,000 円
　　子ども　往復 1,000 円
　　片道　500 円

⑩ 愛宕地蔵尊

愛宕地区で大切にされている地蔵尊で、毎年 6 月に町内で祭事が行われています。

② 湯沢町 歴史民俗資料館「雪国館」

湯沢町の歴史と民俗にかかわる資料と小説『雪國』、川端康成関係の資料を展示している資料館です。

開館時間　9:00～17:00（最終入館16:30）
休館日　水曜日、展示替え期間
入館料　大人 500 円、子ども 250 円

③ かんなっくり

公衆トイレと足湯のあるスペースです。温泉街をぶらぶらする際のお休み処に。
ちなみに「かんなっくり」とはつららのことです。

④ 駒子の手湯

湯沢町に足湯は数あれど、まちなかで手湯があるのはここだけ。手も心も温まります。
※越後湯沢駅新幹線の下りホームには「健康の天使」という手浴用の温泉が引かれています。新幹線に乗る際に見てみてください。

⑥「かすみの間」文学資料館

川端康成が執筆を行った部屋「かすみの間」が見学できる、歴史ある宿です。

開館時間　9:00～17:00
入館料　大人のみ500円（宿泊者は無料）

⑦ 大峯百番観音霊場登口

高半の横の道を上流に向かって進んでいくと、大峯百番観音霊場への登口があります。観音堂から先は山道になりますので、行ってみたい方は万全の装備でお出かけください。

⑧ 山の湯

町内に5つある共同浴場のひとつです。泉質の良い温泉で、「山んぼちゃ（「ぼちゃ」はお風呂の意味）」と呼ばれ親しまれています。

営業時間　6:00～21:00（最終受付20:30）
定休日　火曜日
入浴料　大人 500 円、子ども 250 円

⑨ 諏訪社

地域の村社・諏訪社です。電車の線路が通る前は、愛宕地区側の鳥居からまっすぐ参道が伸びていたので、神社の狛犬は線路側を向いています。小説『雪國』にも諏訪社での一場面が登場しますよ。

⑪ 駒子の湯

山の湯同様、町内に 5 つある共同浴場のひとつです。
「＊越後湯沢全国童画展」の入賞入選作品も展示されています。

営業時間　10:00～21:00（最終受付20:30）
定休日　木曜日
入浴料　大人 500 円　子ども 250 円

第 1 回越後湯沢全国童画展
川上四郎記念大賞作品「雪路」（澤崎美和子）

＊越後湯沢全国童画展

湯沢町にゆかりのある童画家・故川上四郎氏の功績をたたえ、平成8年度より全国公募型の童画展を開催しています。まちなか美術館として町内の公共施設や宿泊施設に町所有の入賞入選作品を展示しています。

⑫ 白瀧酒造

湯沢町にある酒造会社です。おいしい日本酒はもちろん、スキンケア商品も多数開発・取り扱っています。おしゃれなショールームを備えており、平日、予約をすれば蔵見学や試飲が可能です。

JR上越線・上越新幹線　越後湯沢駅　越後湯沢ぐるっと散歩

合計　4.6km　／　所要時間　約1時間5分

① 越後湯沢駅 西口 → 500m 6分
② 湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」 → 0m 0分
③ かんなっくり（足湯） → 200m 2分
④ 駒子の手湯 → 150m 2分
⑤ 湯沢高原ロープウェイ → 950m 15分
⑥ 「かすみの間」文学資料館 → 220m 3分
⑦ 大峯百番観音霊場登口 → 90m 1分
⑧ 山の湯 → 180m 2分
⑨ 諏訪社 → 450m 7分
⑩ 愛宕地蔵尊 → 650m 9分
⑪ 駒子の湯 → 750m 11分
⑫ 白瀧酒造 → 500m 7分
① 越後湯沢駅 東口

別ルート　ロープウェイで山麓駅へ

別ルート　※登山スタイル用意　大峰山の百番観音を巡る

別ルート　越後湯沢全国童画展の作品をまちなか美術館で鑑賞する

※時間は徒歩です。

4 湯　沢　町　JR上越線　岩原スキー場前駅・越後中里駅

湯沢町・土樽地区の自然と歴史探訪

岩原スキー場前駅・越後中里駅は湯沢町内の土樽地区にある上越線の駅です。ウィンターシーズンは湯沢町らしくスキーやスノーボードを楽しめ、町内外、県内外はもちろん、国内外のお客様でにぎわう地域ですが、グリーンシーズンもまた恵まれた自然を思いきり体感できる地域でもあります。「湯沢の夏といえばこれだ！」というスポットも満載です。冬には雪に閉ざされてたどることの難しい地域の歴史の一端をそっと覗いてみませんか？

② 両山神社（りょうやま）

「両山神社」は越後中里駅から約 1.3 ㎞、旧土樽小学校と旧土樽保育園の隣に建つ土樽地区の村社です。過去、土樽村には明治 42 年まで字ごとに鎮守があったものの、両山神社に合併されました。境内には石祠、石碑のほか、記念碑も建てられています。

③ 瑞祥庵（ずいしょうあん）

「仁王像」は石川雲蝶の作品で、湯沢町の指定文化財になっています。越後中里駅から約 1 ㎞、瑞祥庵の山門にてご覧いただけます。瑞祥庵の敷地内には、大きな庚申の文字塔も見られます。

④ ホタルの里

中里地区のきれいな水、自然が育んだホタルを間近で見ることができます。夏限定のお楽しみ。もちろんホタルが見られるのは夜なので、足元にご注意ください。

⑤ 湯沢フィッシングパーク

11月上旬までの期間限定で営業している、魚釣りやつかみ取りを体験できる夏のアクティビティスポットです。

営業時間　9:00～17:00
（10/1以降は8:30～16:30）

⑥ 岩の湯

町内に5つある共同浴場のひとつです。
湯量も豊富で眺めの良い温泉です。

営業時間　10:00～21:00（最終受付20:30）
定休日　水曜日
入浴料　大人 500 円　子ども 250 円

⑦ ますどまり

湯沢を流れる魚野川のうち、一部が深くなっている所があり、自然のままの川で遊べるとあって町の小中学生から大人まで大人気のスポットです。

⑨ 小坂百庚申塔群（こうしん）

町の指定文化財である「小坂の百庚申塔群」。時代が下ると文字碑が増える庚申塔ですが、この場で見られる庚申塔は像が彫られたものも多く、見ごたえがあります。

⑩ 謙信公手植えの松

上杉謙信が山越えを行って関東に出兵する際に植えたと伝わる松の木です。

JR上越線　岩原スキー場前駅・越後中里駅　湯沢町・土樽地区の自然と歴史探訪　合計 5.1km ／ 所要時間 約1時間5分　別ルート：合計 4.9km ／ 所要時間 約1時間6分

① 越後中里駅 →（駅を出たら右側へ）1.3㎞ 18分 → ② 両山神社 → 1.2㎞ 18分 → ③ 瑞祥庵 → 350m 4分 → ④ ホタルの里（夏） → 550m 7分 → ⑤ 湯沢フィッシングパーク（夏） → 210m 2分 → ⑥ 岩の湯 → 500m 5分 → ⑦ ますどまり → 1㎞ 11分 → ⑧ 岩原スキー場前駅

別ルート：⑧ 岩原スキー場前駅 → 1.8㎞ 24分 → ⑩ 謙信公手植えの松 → 1.8㎞ 24分 → ⑨（湯沢町指定文化財）小坂百庚申塔群 → ① 越後中里駅

番外編　もっと満喫・食と自然編

合計 11.7km ／ 所要時間 約2時間30分

① 越後中里駅 →（駅を出たら右側へ）6㎞ 80分 → ② 大源太湖 → 1㎞ 12分 → ③ 体験工房大源太 → 4.7㎞ 55分 → ⑧ 岩原スキー場前駅

歩いて行くにはちょっときつい、だけど知りたい・体験したい！
そんな方にお勧めのスポットを2か所ご紹介します。
「東洋のマッターホルン」といわれる大源太山を望む大源太湖までは、越後中里駅から約6㎞。お散歩コースというには少々のぼり道が厳しいルートになっており、県内外のランナーからも人気が高い湯沢町のコスモスハーフマラソンのコースとも重なります。
自然を満喫した後は、地域の食文化にも触れてみてはいかがでしょうか。
「体験工房大源太」ではそば打ち、笹団子やあんぼ、こんにゃくや味噌づくりの体験ができます。

② 大源太湖・大源太第1号砂防堰堤

大源太湖には国の登録有形文化財（建造物）である大源太第1号砂防堰堤があります。湯沢町にあるこちらの砂防堰堤は、日本初のアーチ式砂防堰堤です。大源太湖周辺の散策もおすすめです。令和元年現在、砂防堰堤の機能を維持するための改修工事が行われています。

③ 体験工房大源太

自然を満喫した後は、地域の食文化にも触れてみてはいかがでしょうか。「体験工房大源太」ではそば打ち、笹団子やあんぼ、ちまきやこんにゃく、味噌づくりの体験ができます。

体験時間　9:00～16:00（通年）　定休日　水曜日、元旦

※時間は徒歩です。

5 南魚沼市 JR上越線・ほくほく線 六日町駅

魚野川が育んだ六日町と難攻不落の坂戸城を歩く

戦国時代、六日町を一望できる坂戸山に坂戸城が築かれました。眼下には魚野川が流れ、山麓には当時をしのぶ遺跡が点在します。魚野川の左岸には近世三国街道が通り、宿場町が形成されました。魚野川には船着場が作られ、人・物資を運ぶ発・終着地として大いに栄えました。今も残るその痕跡を探し歩いてみませんか。

③ 銭淵（ぜにぶち）公園

かつて魚野川が坂戸山にぶつかり、淵があった場所に整備された公園です。春の桜のほか四季折々の花が見られます。古民家を移築して作られた「直江兼続公伝世館」のほか駐車場では「六日町温泉朝市」が開催されます。

喜平次と与六の像

お六と桂姫の像

② 川舟展示室 こうりんぼうの館

「こうりんぼう」とは魚野川で使われた川舟のことです。館の中には復元された川舟が展示されているほか、館の前にはお六の湯（足湯）や「お六と桂姫（幼少期の直江兼続と上杉景勝の妹）」の像があります。

開館時間 9:00~17:00
休館日 年末年始 料金 無料

④ 坂戸城跡 内堀跡（国指定史跡）

魚野川を外堀、旧河道を内堀として、自然地形を巧みに利用して坂戸城の防御力を高めていました。「埋田」という地名が残ることから、廃城後には堀を埋めて水田として利用していたようです。現在は発掘調査の後、水をたたえた堀が復元整備されています。

⑤ 坂戸城跡 居館跡（国指定史跡）

坂戸城跡は中世の山城です。普段は山麓でくらし、戦になると山上に立て籠もって戦いました。
山麓の居館跡には石垣が残り、南側の石垣は、令和元年に修復工事を行いました。
実城と呼ばれる山頂の東斜面にも石垣が残ります。足に自信がある方は、六日町が一望できる実城も目指してみませんか。

⑥ 道宗塚（どうそうづか）

上杉景勝の父、長尾政景の墓です。政景の法名から道宗（どうそう）塚と呼ばれています。塚には「長尾越前守 天正六（1578）年四月」と刻まれた碑と明治の頃に上越線の父、岡村貢よって建てられた碑が残されています。

⑦ 温泉御宿龍言本館（現ryugon）（登録有形文化財）

坂戸山の薬師尾根と羽黒鼻尾根の間の山麓には、かつて上田長尾氏の菩提寺である龍言寺があったと伝えられています。お寺は上杉氏の国替えの際に米沢に移りました。現在は、その名を冠した温泉旅館が建っています。建物は地元雪国の古民家を移築したものです。

奉納艫櫂

⑧ 八坂神社

応永4（1397）年の創立と言われています。夏には兼続公まつり、1月には婿の胴上げが行われます。境内には舟運の神様として金刀比羅様が祀られ、また、軒先には魚野川で使われた舟の艫櫂（トモガイ：舟をこぐ道具）が奉納されています。

⑨ 追分の石碑

三国街道と清水街道の分岐点です。六日町から向かって右へ進むと塩沢や湯沢を経て三国峠へ（現国道17号線）、左に進むと清水峠（現国道291号線）です。

⑩ 南魚沼市民会館

大ホールや多目的ホール、公民館のほか、展示室では市内の遺跡からの出土品を見学できます。周辺には「館」という地名が残り、かつて有力者が住んでいた館があったと考えられています。

開館時間 8:30~17:15
休館日 年末年始 入館料 無料

JR上越線・ほくほく線 六日町駅　魚野川が育んだ六日町と難攻不落の坂戸城を歩く　合計 5.97km ／ 所要時間 約1時間16分

① 六日町駅 → 450m 6分
② こうりんぼうの館 → 850m 10分
③ 銭淵公園 → 350m 5分
④ 坂戸城跡内堀跡（国指定史跡） → 400m 6分
⑤ 坂戸城跡居館跡（国指定史跡） → 750m 10分
⑥ 道宗塚 → 450m 5分
⑦ 龍言（登録有形文化財） → 1.2km 15分
⑧ 八坂神社 → 270m 3分
⑨ 追分の石碑 → 500m 6分
⑩ 南魚沼市民会館 → 750m 10分
① 六日町駅

※時間は徒歩です。

6 南魚沼市　JR上越線・上越新幹線　浦佐駅

普光寺の門前町・浦佐を歩く

浦佐地区は、国指定重要無形民俗文化財の浦佐毘沙門堂の裸押合で有名な普光寺の門前町、三国街道の宿場町として発展してきました。近年は上越新幹線浦佐駅や県立の都市公園である八色の森公園が建設されるなど、歴史的なたたずまいを残しながらも現代的な魅力も持ち合わす町、浦佐を巡ってみましょう。

2 田中角栄先生像

昭和60年の上越新幹線・関越自動車道の開通を記念して建立されました。雪よけの屋根が付いているのも雪国ならではです。

3 松坂節全国大会発祥記念碑

消滅寸前となった松坂節の復興を呼びかけ、浦佐地区で全国大会が行われたのを記念して建てられました。

4 池田記念美術館

小泉八雲資料やスポーツ関連資料などベースボールマガジン社の創立者池田恒雄のコレクションが公開されています。喫茶コーナーからの八海山の眺めは格別です。

開館時間 9:00~17:00　休館日 毎週水曜日　入館料 500円

5 八色の森公園むかしや

八色の森公園内にある展示休憩施設です。民具や考古資料が展示されています。なかでも大正時代に作られた人体模型は大変珍しいものです。また、1階の雪室では夏でも雪を見ることができます。

開館時間 9:00~16:30
開館日 土・日・祝日のみ　※冬季休館
入館料 無料

人体模型

6 地蔵清水

昔は地元の洗濯場として使われていました。周辺には庚申塔や古峯神社、背後の尾根には下山古墳群や下山城跡があります。古代中世の昔からこの湧き水を利用していたかもしれません。

8 浦佐城跡（浦沢城跡）（南魚沼市指定史跡）

普光寺の背後にそびえる中世の山城です。急な上り坂を20分ほどで山頂に到着します。巨大な二重空堀は必見です。

猫瓦

7 普光寺

3月第一土曜日に行われる毘沙門堂の裸押合では多くの人でにぎわいます。江戸時代に作られた山門やケヤキの巨木などの数多くの文化財のほか、魔除けの猫瓦も有名です。

開館時間 9:00~16:30
開館日 通年
拝観料 内陣参拝・寺宝館 300円

JR上越線・上越新幹線　浦佐駅　普光寺の門前町・浦佐を歩く　合計 5.67km ／ 所要時間 1時間12分

① 浦佐駅 → 100m 1分 → ② 田中角栄先生像 → 900m 12分 → ③ 松坂節の碑 → 170m 2分 → ④ 池田記念美術館 → 300m 4分 → ⑤ 八色の森公園むかしや → 2.5km 32分 → ⑥ 地蔵清水 → 700m 9分 → ⑦ 普光寺 → 300m 4分 → ⑧ 浦佐城跡（南魚沼市指定史跡） → 700m 8分 → ① 浦佐駅

※時間は徒歩です。

7 魚沼市　JR上越線　越後堀之内駅

歴史と文化の結節点、越後堀之内駅周辺を歩く

堀之内
正安寺（しょうあんじ）遺跡出土
火焔（かえん）型土器

越後堀之内は歴史の宝庫。
堀之内は旧石器時代から現代まで、人が途切れることなく生活していた痕跡を残す歴史の町。旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世の遺跡が各所に点在しています。
中世には軍事用路、近世には「越後縮」の原料である奥会津産「青苧」（あおそ）が卸される生活の道として「会津街道-六十里越」、参勤交代にも使用された「三国街道」、さらには「清水街道」の３つの道が交わります。堀之内は「歴史と文化の結節点」。堀之内を散策し、先人の文化に触れてみて下さい。

6 願念寺

浄土真宗本願寺派。鐘楼門にはかつての「三国街道栃原峠人物往来史」天保9（1838）年の堀之内村絵図が展示されています。文禄元（1591）年に信州真田一族の流れをくむ僧教順（きょうじゅん）が戦乱を嫌い、岩田姓を名乗り諸国を遍歴、辿り着いた堀之内で創建したと伝えられています。境内には聖徳太子を祀った太子堂があり、大工や左官の神様として信仰を集めています。

堀之内縮通行「覚」

3～7 街道の歴史に出会える堀之内宿

堀之内宿では江戸時代天明期に白縮が取引されていました。会津藩御預だった新選組の羽織を作っていた京都の大丸は、番頭が幕末期まで堀之内宿の商店に宿をとり仕入れを行っていました。幕末に活躍した新選組の旗と羽織は堀之内の白縮で作られたと考えられています。堀之内縮通行「覚」には「会津」の文字が見られます。

2 原（はら）・居平（いだいら）遺跡出土 火焔型土器モニュメント

魚沼市原・居平遺跡から出土した火焔型土器のモニュメント。時期によりスタンプラリーが行われています。
堀之内では原・居平遺跡をはじめ、正安寺遺跡など多くの縄文遺跡が見つかっています。

3 宮柊二記念館

堀之内出身の歌人　宮柊二に関する展示をしています。時期によって企画展が開催され、毎年行われる短歌大会には全国各地のほか、ブラジルなど海外からの応募も見られます。

開館時間　10:00～16:00　休館日　毎週月曜・年末年始
入館料　大人 400 円　小中高生 200 円

4 魚野川からの眺望（根小屋橋）

1級河川魚野川。かつてはサケの遡上がみられました。川にかかる根小屋橋中央付近から信仰の山、越後三山が眺望できます。人がこの地で生活を始める以前から流れ続ける魚野川は、土地の歴史を作り出した立役者です。

歴史の道の結節点

5 皇大神宮

伊勢神宮の分社として伊勢国一志大夫（いせこくいっしだゆう）の創建と伝えられます。祀神は天照皇御神（内宮）、豊受皇御神（外宮）。鳥居や燈籠は魚沼市広神の小平尾石（おびろういし）が使用され、石工（いしく）の技術の高さも見ることができます。
皇大神宮参道（伊勢小路）では5～10月の第1日曜日に「市」が開かれます。また、11月1日を「お神送り」、12月1日を「お神迎え」と呼び、古くから神様を送迎する参拝者で賑わってきました。

見学時間　24 時間

7 普賢寺

南魚沼市曹洞宗雲洞庵の末寺。大永元（1521）年、僧南室により創建され、天文12（1543）年に雲洞庵の寿椿（じゅちん）を招いて開山されました。かつて春日平に鎮座していた春日神社が合祀されましたが、明治3（1870）年に寺社とともに火事により焼失しました。令和元年、150年ぶりに境内に春日神社が再建されました。病気平癒にご利益があります。

境内の手水鉢にひっそりと存在するカメ。その瞳にはどんな歴史を映してきたのでしょうか…。

8 八幡宮（薮上神社）

1650年の大洪水で又倉神社、1677年の宮林（山ノ手町）の火災で天神社が古くから鎮座する薮上神社と合祀され「三社の宮」とも呼ばれます。重要無形民俗文化財「大の阪」が毎年8月に行われます。

JR上越線　越後堀之内駅　歴史と文化の結節点、越後堀之内駅周辺を歩く　合計　3.6km　／　所要時間　約50分

1 越後堀之内駅 → 1km 13分 → 2 原・居平遺跡出土 火焔型土器モニュメント → 8m 1分 → 3 宮柊二記念館 → 見学時間目安 20～40分 550m 7分 → 4 魚野川からの眺望（根小屋橋） → 1km 10分 → 5 皇大神宮 → 10m 1分 → 6 願念寺 → 20m 1分 → 7 普賢寺 → 550m 7分 → 8 八幡宮（薮上神社） → 500m 7分 → 1 越後堀之内駅

※時間は徒歩です。

8 魚沼市 JR只見線　越後須原駅

守門地域の歴史を旅する

越後須原駅を降りると正面には国指定重要文化財目黒邸。豪雪地帯ならではの建築技法は他の地域では見ることのできない重厚さが感じられます。周辺には西村天満宮に守門神社といった古くから地域を見守る社が鎮座し、厳かな雰囲気が際立ちます。
目黒邸向かいには地域の方々が営む直売所もあり、地元の人とのふれあいの場になっています。

② 守門民俗文化財館

雪国での生活に必要不可欠な日用品や生活用品、米作りに使う農具、特産品等に関する民具を展示しています。

開館時間 9:00～16:00　休館日 年末年始
入館料 （目黒邸と合わせて）大人 300 円　小人 100 円

③ 目黒邸（国指定重要文化財）

昭和49、53年、平成5年に国の重要文化財に指定されました。寛政9(1797)年に十一代五郎助が建てた割元庄屋の役宅を兼ねた豪農住宅です。
新緑・ホタル・紅葉・雪化粧…四季に応じて異なる表情が楽しめます。

開館時間 9:00~16:00　休館日 年末年始　入館料 大人300円　小人100円（守門民俗文化財館見学含む）

④ 目黒邸資料館

豪農目黒家ゆかり品々を常設展示しています。企画展情報は HP でチェック。

開館時間 9:00～16:00　※冬季休館
入館料 大人 200 円　小人 100 円

⑤ 旧佐藤家住宅（国指定重要文化財）

昭和５２年１月に国の重要文化財指定されました。元文3(1738)年に建築され、豪雪に耐えられる工夫が各所に見られます。

開館時間 9:00～16:00　※冬季休館
入館料 100円(大人・小人一律)

⑥ 絵本の家「ゆきぼうし」

絵本や童話など9,000冊余りの本が備えてあり、後ろにある「フーのきの森」で散策したり、ハンモックやブランコを楽しめます。

開館時間 10:00~16:00　開館日 土日のみ　※冬季休館
入館料 無料

⑦ 地域交流の場・直売所「元気すもん」

地域の方々が営む直売所。地元の新鮮野菜、地域の方が作るわら細工や雑貨、昔のおやつ「あげ干飯」などを販売しています。ピザ屋さん、パン屋さんも時々出店しています。

開館時間 9:00～14:00　営業日 毎週日曜日　※冬季休館

⑧ 越後ゆきくら館（玉川酒造）

江戸時代から続く酒蔵。豪雪地帯ならではの雪を利用した貯蔵庫が見学できます。お酒の試飲は常に10種類ほどあり、お土産コーナーも充実しています。

開館時間 9:00~16:00　休業日 1月1日

JR只見線　越後須原駅　守門地域の歴史を旅する　合計 5.2km ／ 所要時間 約1時間20分

① 越後須原駅 → 200m 3分 → ② 守門民俗文化財館 → 0分 → ③ 目黒邸（国指定重要文化財）→ 庭園内を散策しながら移動 → 300m 10分 → ④ 目黒邸資料館 → 1.6km 25分 → ⑤ 旧佐藤家住宅（国指定重要文化財）→ 1.2km 15分 → ⑥ 絵本の家「ゆきぼうし」→ 700m 10分 → ⑦ 元気すもん → 600m 8分 → ⑧ 越後ゆきくら館 → 700m 10分 → ① 越後須原駅

※時間は徒歩です。

9 十日町市　ＪＲ飯山線　魚沼中条駅

国宝火焔型土器が生まれた地域をめぐる

中条地区には、新田一族である大井田一族の本拠であった新潟県指定史跡の大井田城跡、大井田経隆ゆかりの龍神を祀った高靄神社など、数多くの名所・旧跡があります。十日町市指定史跡の笹山遺跡から出土した火焔型土器をはじめとした出土品928点は、平成11年に縄文土器として初の国宝、新潟県唯一の国宝に指定されています。また、幕府の従医に登用され48巻の医学書を著した漢方医学の最高峰である尾台榕堂などの名医を輩出しました。

② 火焔型土器モニュメント

中条公民館前の国道117号中条交差点脇に設置されたモニュメントで、台座を入れた高さは3.2mで樹脂モルタル製です。国宝の火焔型土器No.1がモデルとなっています。

③ 尾台榕堂（おだいようどう）誕生の地碑

漢方医学の最高峰と称えられる仁医である尾台榕堂が生まれ育った場所です。現代でも漢方の教典となっている「類聚方広義（るいじゅほうこうぎ）」などの書を著しています。

④ 大井田城跡（新潟県指定史跡）

築城年代は不明ですが、南北朝時代の越後新田一族の中心勢力だった大井田氏の本拠と伝えられています。

⑤ 高靄（こうりゅう）神社（十日町市指定文化財）

大井田経隆が大井田城のふもとに龍神を祀ったと伝えられている神社です。日照りの時に雨乞いすると雨を降らせてくれるため、農業の神としても信仰されています。神社社叢は市指定文化財で、約4,000坪の境内を散策してみてはいかがでしょう。

⑥ 笹山遺跡（十日町市指定史跡）

1980年～1985年にかけて発掘調査が行われ、縄文時代中期～後期の馬蹄形となる大規模な集落であることがわかりました。笹山縄文広場には竪穴住居が2棟復元されています。

⑦ 桂公園こどもランド

地元のNPOにより、子育て家族が楽しむことができる自然に恵まれた公園です。公園に向かう杉並木を抜け、家族で楽しく遊んでみてはいかがでしょう。

⑩ 魚沼酒造・高長醸造場

魚沼酒造は「縄文の響」「縄文の恋人」「縄文の焔」という「縄文」の名が付いた銘柄の日本酒を造っています。高長醸造場は味噌や味噌漬けなどを造っています。

⑧ 八幡社

創立年は不詳ですが、八幡社の祭神は「譽田別尊（ほむだわけのみこと）」です。古くは武人の守護神でしたが、現在では、集落の鎮守様として毎年8月下旬に祭礼が行われています。

⑨ 上之島（かみのしま）神社

明治43年八幡の八幡宮と太子堂地内諏訪田の諏訪社、塚田の十二社を合併して上之島神社と改称しました。祭神は「譽田別尊」などです。現在の社は大正9年に建て替えられたものです。

ＪＲ飯山線　魚沼中条駅　国宝火焔型土器が生まれた地域をめぐる　合計　8.3km ／ 所要時間　約2時間

① 魚沼中条駅 → 300m 5分 → ② 火焔型土器モニュメント → 700m 9分 → ③ 尾台榕堂誕生の地碑 → 1.7km 30分 → ④ 大井田城跡（新潟県指定史跡） → 1.8km 25分 → ⑤ 高靄神社（十日町市指定文化財） → 500m 7分 → ⑥ 笹山遺跡（十日町市指定史跡） → 500m 7分 → ⑦ 桂公園こどもランド → 300m 5分 → ⑧ 八幡社 → 800m 10分 → ⑨ 上之島神社 → 300m 5分 → ⑩ 魚沼酒造・高長醸造場 → 1.4km 22分 → ① 魚沼中条駅

※時間は徒歩です。

10 十日町市　ＪＲ飯山線　越後田沢駅

信濃川と清津川が作り出した河岸段丘を歩く

田沢地区は、信濃川と清津川が作り出した河岸段丘上にあります。旧石器時代から縄文時代草創期の遺跡が数多く残され、特に信濃川・清津川合流点付近には田沢遺跡や壬遺跡（じんいせき）などがあり、2019年10月に津南町の本ノ木遺跡を含め、本ノ木・田沢遺跡群として国指定史跡に指定されました。JR東日本信濃川発電所の取水ダムや魚道など、日本一の大河　信濃川に関わる施設を巡り、優雅な流れを感じながら歴史と文化に触れてみて下さい。

② 山崎神社

大正14年に創立された新しい神社です。祭神は「建御名方命」（たけみなかたのみこと）で、毎年8月29日に神社周辺で山崎まつりが行われています。

③ 如来寺十二社

創立年は不詳ですが、元禄12（1699）年に再建された神社で、祭神は「大山祇命」です。十二社脇には双体道祖神があります。

④ 泉龍寺

慶長８(1603)年に開山された曹洞宗通幻了菴派の寺院で、現在の本堂は安永元(1772)年に再建されたものです。本尊は十一面観世音菩薩で、脇侍は毘沙門天と地蔵菩薩です。

⑤ 桂 十二社

創立年は不詳の神社で、祭神は「大山祇命」です。十二社脇には庚申塔があります。境内内には県指定の大杉がありましたが、火災で焼失してしまいました。

⑥ 黄桜の丘公園

JR東日本 信濃川発電所宮中堰堤脇にある公園で、新潟県内でも珍しい黄桜（薄黄色の桜）が植樹されています。ソメイヨシノより遅い開花で、例年では４月下旬から５月上旬が見頃です。

⑦ JR東日本 信濃川発電所（宮中堰堤・取水口）

昭和 14 年建設の取水ダムで、取水を利用し信濃川下流の千手・小千谷・小千谷第二の 3 つの発電所で発電しています。発電した電力は首都圏の鉄道・新幹線に供給されています。

⑧ 魚道

宮中取水ダムにはサケなどの遡上性魚類が通る道が作られています。10月中旬から11月上旬には魚が上る様子を観察することができます。

⑨ 小原 十二社

創立年は不詳の神社で、祭神は「大山祇命」です。十二社脇には庚申塔があります。

⑩ 田沢遺跡・壬遺跡（国指定史跡）

2019 年 10 月に国指定史跡に指定された遺跡群です。本ノ木遺跡（津南町）、田沢遺跡・壬遺跡（十日町市）は旧石器時代から縄文時代の変遷を知ることができると評価されています。

⑪ 荒屋 十二社

創立年は不詳の神社で、祭神は「大山祇命」です。十二社脇には双体道祖神があります。

ＪＲ飯山線　越後田沢駅　信濃川と清津川が作り出した河岸段丘を歩く　合計 9.0km ／ 所要時間 約2時間30分

① 越後田沢駅 → 800m 20分 → ② 山崎神社 → 1.1km 16分 → ③ 如来寺 十二社 → 500m 9分 → ④ 泉龍寺 → 500m 9分 → ⑤ 桂 十二社 → 1.3km 20分 → ⑥ 黄桜の丘公園 → 300m 5分 → ⑦（宮中堰堤・取水口）JR東日本 信濃川発電所 → 300m 5分 → ⑧ 魚道 → 800m 16分 → ⑨ 小原 十二社 → 1.5km 25分 → ⑩（国指定史跡）田沢遺跡・壬遺跡 → 1km 15分 → ⑪ 荒屋 十二社 → 900m 10分 → ① 越後田沢駅

※時間は徒歩です。

11 津南町 ＪＲ飯山線　越後鹿渡駅

鹿渡（しかわたり）・辰ノ口（たつのくち）・卯之木（うのき）の大地と歴史に触れる

鹿渡は、日本一長い信濃川の流域の中で最も川幅が狭い場所のため、この地名が付けられました。信濃川左岸は、かつて海であった大地が盛り上がってできた地形のため、土砂崩れが起こりやすい場所です。その地形を利用して水力発電所が作られています。信濃川沿いに走る飯山線を見ることもできます。信濃川を渡る豊船橋では、かつて海であった頃に堆積した地層や信濃川を見ることができます。橋を渡ると、縄文時代の初めの頃の遺跡が点在する河岸段丘や、古道・善光寺街道を歩きながら、縄文文化やお宮を見ることができます。

① 越後鹿渡駅

ＪＲ飯山線の無人駅で小さな駅舎があります。

② 松苧（まつお）神社

およそ300年以上の歴史のある神社で「矢放神社」とも呼ばれます。33年に1度、御開扉され、次回は2029年の予定です。格天井絵が素晴らしい。十日町市犬伏の松苧神社と姉妹神社で青苧産業を保護する神様です。伝承では、「京都のある女神が男神の執拗な恋慕から逃れて当地まできて、さらに犬伏まで逃れた」とされています。

③ 日本一の発電量を誇る 水力発電所

東京電力信濃川発電所は、昭和14（1939）年に完成し、当時東洋一の発電所でした。信濃川の豊富な水と、頸城丘陵と信濃川との落差を利用して発電されています。5つの鉄管は圧巻です。

渓泉荘（辰ノ口温泉）

渓谷にある単純温泉で、神経痛、疲労回復の効能があります。脇を流れる清流では夏になるとホタルを見ることができます。

④ 辰ノ口のトヤ沢砂防えん堤

2011年の長野県北部地震では大規模な土砂崩れが発生しました。そのため新しくセル式と呼ばれる円柱を組み合わせた砂防ダムが作られました。古くから洪水などが起こりやすい場所には龍神や大蛇伝説があります。地元では諏訪社も祀られていることから「辰ノ口」という地名が付けられたのかもしれません。

⑤ 本ノ木遺跡（国指定史跡）

信濃川と清津川の合流点には、およそ15,000～12,000年前の縄文時代の初めの頃遺跡が多く点在しています。本ノ木遺跡では、1,000点以上もの石槍が出土しています。

⑥ モリクラフト

飯山線の枕木を使って作らた木工・木彫工房「モリクラフト」は、ぬくもりのある木を素材にした食器や家具が並び、カフェでは美味しいコーヒーを飲むことができます。

⑦ 縄文ムラ（農と縄文の体験実習館なじょもん）

竪穴住居７軒が復元され、縄文時代のムラの様子を見ることができます。周囲は、「カモシカ」や「ノウサギ」なども見かける森に囲まれ、様々な縄文体験や館内では、津南町内で出土した火焔型土器をはじめとする縄文土器や苗場山麓ジオ―パークの情報を得ることができます。

開館時間 9:00～17:00　休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）　入館料 無料

⑧ 善光寺街道

信濃川の両岸には、長野県の善光寺へと繋がる道を「善光寺街道」と呼んでいました。森の中を歩く古道です。道中には道標もあります。

⑨ 矢放（やはなち）神社

大同元（８０６）年八月の創建と伝わります。かつては、下船渡本村にありましたが、明治４０（1907）年に十二ノ木集落の十二社と合併して現在の場所になりました。「龍」や「唐獅子」などの素晴らしい彫刻を見ることができます。

⑩ 夫婦岩

２つに割れた石が寄り添っている様子から、夫婦岩と呼ばれています。

ＪＲ飯山線　越後鹿渡駅　鹿渡・辰ノ口・卯之木の大地と歴史に触れる

日本一の水力発電所を見よう
合計 4km ／ 所要時間 約1時間
① 越後鹿渡駅 → 900m 14分 → ② 松苧神社 → 900m 14分 → ③ 信濃川 水力発電所 → 2km 30分 → ① 越後鹿渡駅

災害の跡、大きなダムを見てみよう
合計 4km ／ 所要時間 約1時間
① 越後鹿渡駅 → 2km 30分 → ④ 辰ノ口トヤ沢砂防えん堤 → 2km 30分 → ① 越後鹿渡駅

善光寺街道・古道を巡り、木のぬくもり、縄文時代を感じる
合計 7.5km ／ 所要時間 約1時間30分
① 越後鹿渡駅 → 1.5km 20分 → ⑤ 本ノ木遺跡（国指定史跡） → 500m 10分 → ⑥ モリクラフト → 850m 12分 → ⑦ 農と縄文の体験実習館 → 1.8km 20分 → ⑧ 善光寺街道 → 900m 10分 → ⑨ 矢放神社 → 1km 15分 → ⑩ 夫婦岩 → 1km 15分 → ① 越後鹿渡駅

※時間は徒歩です。

12 津南町　ＪＲ飯山線　越後田中駅・津南駅

河岸段丘の雄大な景色を臨み、歴史文化と温泉に親しむ

ＪＲ飯山線の越後田中駅から津南駅までを信濃川左岸の東頸城丘陵の裾野を歩きます。かつて海だった場所が盛り上がって山となり、土砂崩れにより平らな土地と湧水をもたらしました。アップダウンが多いコースですが、登り切ったあとの景色は絶景です。集落を巡り、神社の境内や古道の森林、温泉で癒されながら回ります。

① 越後田中駅

JR飯山線の駅です。無人駅ですが、小さな三角屋根の可愛い駅舎です。

⑥ 川の展望台

信濃川と河岸段丘が一望できる展望台です。眼下には、河岸段丘に広がる津南町の街並みや田畑が広がり、春は新緑と水鏡の水田が、秋には黄金色に染まった大地など四季折々の風景が楽しめます。遠方には越後三山などの山々を見ることができ、写真映えするスポットです。

② 田中橋

かつては、舟渡し場があった場所です。
日本一長い信濃川と北緯37度ラインをひとまたぎ。

③ しなの荘（田中温泉）

川沿いにある源泉かけ流しの温泉に入れる旅館です。日帰り入浴も可能で、風呂の日（26日）に行くと良いことがあるかもしれません。

④ 矢放（やはなち）神社

田中集落のお宮で、十二大明神、熊野大権現も合祀され「三社宮」とも呼ばれています。見事な龍の宮彫りを見ることができます。

熊野神社

かささぎの家

上野大杉

庚申塔

⑤ 上野集落・熊野神社（町指定文化財）

坂を上ると大地が開け、上野集落が広がっています。庚申塔や熊野神社の素晴らしい宮彫りを見ることができます。そして、妻有アートトリエンナーレ大地の芸術祭の作品の1つである「かささぎの家」を見ることができます。川の展望台への途中には上野大杉（町指定文化財）があります。

押付集落

善光寺街道　馬頭観音

リバーサイド津南

⑦ ⑧ 津南温泉・ＪＲ津南駅

川の展望台から押付集落へ下りていく道中は、善光寺街道や馬頭観音の道標を見ながら歩きます。津南温泉では、旅館「湯のさと・雪国」やリバーサイド津南でゆったりすることができます。

ＪＲ飯山線　越後田中駅・津南駅　河岸段丘の雄大な景色を臨み、歴史文化と温泉に親しむ

合計 11km ／ 所要時間 約3時間

① 越後田中駅 → 850m 11分 → ② 田中橋 → 300m 5分 → ③ しなの荘（田中温泉） → 280m 3分 → ④ 矢放神社 → 4.6km 60分（登り坂） → ⑤（町指定文化財）上野集落・熊野神社 → 2km 30分 → ⑥ 川の展望台 → 3km 50分 → ⑦ 湯のさと・雪国（津南温泉） → 300km 5分 → ⑧（リバーサイド津南・津南温泉）津南駅

※時間は徒歩です。

13 栄　村　JR 飯山線　信濃白鳥駅・横倉駅

奥信濃の暮らしと祈り

栄村にある道の駅さかえから8キロ程。日本一長いと言われる千曲川沿いに信濃白鳥駅はあります。駅を出ると広がるのは雪国に暮らす日本人の原風景です。
寺、水路、石積みの田、石仏、ブナの森、豪雪に耐えるように作られた家々。
悠久の昔から、相も変わらず、人々はここで暮らしています。

1 信濃白鳥駅

2 白鳥集落 高久山神社の彫刻

精巧に彫られた龍。
拝殿は文政10～11（1827～1828）年の作とされる。栄村千曲川沿いの神社には精巧な彫を持った神社が多い。木彫りを求めて神社や寺を回るのもまた楽しい。
箕作集落と青倉集落の神社にも精巧な彫がある。

3 白鳥集落の石積み

千曲川沿いに広がる白鳥集落、平滝集落では石積みの棚田が作られていた。「鍛治屋敷」と呼ばれるこの場所の石積みは石が大きく勇壮である。千曲川の石を拾って作られたとみられ、丸石が多い。
※農地は私有地です。土地の人の許可をもらい、立ち入りましょう。

4 光厳寺跡の石仏群

2011年の地震で取り壊しとなった寺跡に残された石仏群。六地蔵、馬頭観音、巡礼供養塔など。往時の信仰が垣間見える。

5 ひんご遺跡

平成27年～平成29年まで発掘調査された遺跡。約1万年から3千年前までの縄文時代のものが出土した。現在は道路の下となっている。土器や石器は栄村歴史文化館に展示されている。

お問合せ
栄村歴史文化館／栄村公民館　0269(87)2100

6 常慶院の山門

常慶院は曹洞宗の寺院で、14～16 世紀ころ開山したとみられる。山門は嘉永3（1850）年に棟上げされた。越後系の彫工による見事な彫刻がみどころ。

7 千曲川と棚田

写真スポット。集落、棚田、千曲川が眼前に広がる。
2019年には台風19号の影響により、田が浸水した。

8 横倉駅

JR 飯山線　信濃 白鳥駅・横倉駅　奥信濃の暮らしと祈り

合計 8.9km ／ 所要時間 約1時間50分

1 信濃白鳥駅 → 240m 3分 → 2 白鳥集落 高久山神社の彫刻 → 900m 11分 → 3 白鳥集落の石積み → 2.2km 25分 → 4 光厳寺跡の石仏群 → 500m 6分 → 5 ひんご遺跡 → 1.7km 22分 → 6 常慶院の山門 → 1.6km 20分 → 7 千曲川と棚田 → 1.8km 22分 → 8 横倉駅

※時間は徒歩です。

◀秋山郷公共交通について

秘境・秋山郷を旅する

「秘境」と呼ばれる秋山郷、そこでの人と自然の関係性は多岐にわたります。
悠然と佇む苗場山に鳥甲山。その山の土や水により、植物や動物は育ち、そしてまた植物や動物が土や水を作ります。
その循環の一部を糧とし人は暮らし、循環を守り自然を信じ尊ぶことで人は自然の一部ともなり、様々な神や仏を祀っていました。
この地では、そういった昔からある自然との付き合いが生きた形で垣間見えます。
今こそ、秘境秋山郷を旅しましょう。

① 秋山郷総合センター「とねんぼ」

秋山郷の総合案内施設。マタギ 文化等山の暮らしの展示もある。

開館時間　平日　8:30~17:00　土日祝日　9:00~16:30
開 館 日　4 月下旬~11 月上旬までは無休　11 月中旬~4 月中旬は土日祝日休館
入 館 料　無料

② 小赤沢集落 十二社

小赤沢で祀られている山の神のお社。
毎年2月12日には「十二講」を行う。

④ 屋敷集落と布岩山

集落 を見下ろす長大な「柱状節理」を持つ布岩山と集落が一同に見えるビューポイント。
車道のため写真撮影の際は車に注意。

⑤ 屋敷集落 薬師堂

今でも集落の方から参拝される薬師堂。悪いところが治るようにと T シャツや帽子が掛けてある。
見学の際は集落の方に一声かけてから。

③ かつら母神（ぼしん）

樹高 25m、樹周 12m、推定樹齢 300 年。小赤沢の山神様として信仰されている。

⑥ 大秋山村跡

秋山郷発祥の地とされる。天明の飢饉（1782年～1788 年）の際、8軒あった家が滅んだという。
屋敷集落の方々により管理されている。

秋山郷デマンド交通　秘境・秋山郷を旅する　合計 10.4km ／ 所要時間 約2時間22分

① 秋山郷総合センター「とねんぼ」 → 30m 1分 → ② 小赤沢集落 十二社 → 700m 20分（途中山道） → ③ かつら母神 → 1.3km 18分 → ④ 屋敷集落と布岩山 → 1.4km 19分 → ⑤ 屋敷集落 薬師堂 → 2.2km 25分（途中山道） → ⑥ 大秋山村跡 → 4.8km 60分 → ① 秋山郷総合センター「とねんぼ」

屋敷集落―小赤沢集落間は栄村秋山郷内限定 自家用有償運送「山タク」も使用可能です。

※時間は徒歩です。

地図凡例 index

1 【みなかみ町】
奥利根の歴史と文化を求めて

2 【みなかみ町】
谷川岳を展望しながら真田の里探訪

3 【湯沢町】
越後湯沢ぐるっと散歩

4 【湯沢町】
湯沢町・土樽地区の自然と歴史探訪

5 【南魚沼市】
魚野川が育んだ六日町と難攻不落の坂戸城を歩く

6 【南魚沼市】
普光寺の門前町・浦佐を歩く

7 【魚沼市】
歴史と文化の結節点、越後堀之内駅周辺を歩く

8 【魚沼市】
守門地域の歴史を旅する

9 【十日町市】
国宝火焔型土器が生まれた地域をめぐる

10 【十日町市】
信濃川と清津川が作り出した河岸段丘を歩く

11 【津南町】
鹿渡・辰ノ口・卯之木の大地と歴史に触れる

12 【津南町】
河岸段丘の雄大な景色を臨み、歴史文化と温泉に親しむ

13 【栄村】
奥信濃の暮らしと祈り

14 【栄村】
秘境・秋山郷を旅する

- 展望地 / 景勝地 View point
- 温泉 Hot spring
- 博物館 / 美術館 Museumn
- 歴史的建造物 Historical monument
- 公園 Park
- スキー場 Ski resort
- ゴルフ場 Golf course
- 鉄道 / 鉄道駅 Railway / Railway station
- バス / バスのりば Bus / Bus stop
- タクシー / タクシーのりば Taxi / Taxi stop
- ロープウェイ Cable car
- レンタカー Rent a car
- 駐車場 Parking
- 船着場 Ship
- キャンプ場 Camp site
- スポーツ体験施設 Sports facility
- 文化体験施設 Cultural workshop
- 大地の芸術祭 Echigo-tsumari Art Field
- 道の駅 Rest stop
- 登山・トレッキングルート Hiking route
- 散歩・ウォーキング Walking
- 案内所・情報コーナー Information
- キャッシュサービス Cash service
- 郵便 Post
- 手荷物一時預かり所・コインロッカー Baggage storage & Coin lockers
- お手洗 Toilets
- 警察 Police
- 病院 Hospital

本冊子は、令和元年度雪国観光圏推進協議会・雪国文化研究ＷＧを通じて調査・報告したことを、座長の佐藤雅一を中心に安立 聡・越智勇気・笠井洋祐・佐藤信之・田村 司・南雲香奈・藤本玲子が協議し、分担執筆した。

また、一般社団法人雪国観光圏の井口智裕・細矢智子から助言を頂いた。

その他に以下の方々から、ご指導とご協力、写真提供を得た。記して感謝申し上げます（敬称略）。

中沢英正・村山景子・フジノケン

雪国文化に触れる旅

— 歩く・学ぶ・食べる —

監　修
（一社）雪国観光圏

全体編集
雪国文化研究ワーキンググループ

デザイン・編集・印刷
株式会社 滝沢印刷

発行日
令和2（2020）年2月28日

雪国観光圏
SNOW-COUNTRY.JP